

## 株主の皆様には、 日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの第66期(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)第2四半期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、復興需要等により緩やかな景気回復基調にありましたが、欧州の債務危機や新興国の景気後退による世界的な景気減速への懸念、消費税増税等の新たな負担増による生活不安の問題が浮上するなか、先行き不透明な状況が一層深刻化していると考えられます。

現下の厳しい状況下におきまして、当社グループの売上高は、前年の震災による落ち込みの反動で、3月に大きく売上を伸ばしたこともあり、既存店売上は前年同期を上回って着地いたしました。また全店ベースの売上は、前期の不採算店の大量退店が響き微減収となりました。

収益面におきましては、PB(プライベートブランド)及びNPB(ナショナルプライベートブランド)戦略の推進による粗利益率の改革、販管費のコントロール強化と抑制、慎重な出店戦略と不採算店のリストラなどに引き続き注力した結果、増益を確保いたしました。

当第2四半期連結累計期間の出退店は、出店20店、退店34店を実施し、当第2四半期連結会計期間末店舗数は、靴事業1,130店(前年同期比25店減)、衣料品事業477店(同33店減)の合計1,607店(同58店減)となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高76,043百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益6,409百万円(同20.9%増)、経常利益6,825百万円(同21.5%増)、四半期純利益3,795百万円(同120.4%増)となりました。



取締役社長

舟橋 政男



左から シュープラザ新宿東口駅前店、シュープラザ吉祥寺店、東京靴流通センター上野松坂屋店、靴チヨダ八重洲地下街店、SPC東京ベイららぽーと店

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

### 靴事業

当第2四半期連結累計期間における靴事業の売上高は、震災の反動で3月の売上が大きく増加したこと、また一貫して客単価が微増したことにより客数減少を補い、既存店の売上は前年同期を上回りました。一方、全店ベースの売上高は、前期及び今期の不採算店の退店等による店舗数の減少により微減収となりました。

商品面におきましては、紳士靴部門は防水機能を持つ「ハイドロテック・ブラックコレクション」、通気性重視の「ハイドロテック・涼風爽快」、若年層をターゲットにした「セダー・クレスト」ブランド全般が大変好調に推移しました。婦人靴部門ではエレガントカジュアルの「mcマリ・クレール」やコンフォートシューズの「バイオフィッター・レディース」、若年層をターゲットにした「セダー・クレスト」ブランド全般が好調に推移しました。また、学生靴として洗えるローファー「セダー・クレスト・ウォッシュャブル」が支持を受け大きく売上を伸ばしました。子供靴部門では「バイオフィッター・ツィンクル」及び「バイオフィッター・ライナー」が「光る靴」として話題となりました。スニーカー部門では、4月にアメリカの有名ブランド「Keds」の当社限定コレクションをローンチし好評を得たほか、吸湿速乾に優れ独自の換気システムで湿気を調節するクールプラス繊維を使用した「バイオフィッター・エア」を同じく4月にローンチし好調な売れ行きとなりました。若年層をターゲットに据えた「セダー・クレスト」ブランドでは、キャンパス・スニーカー「ダブルフェイス」を筆頭に、トーンングシューズ「デュオモーションズ」などが爆発的な売れ行きとなりました。「セダー・クレスト」ブランドでは、全部門にわたり若年層

取り込みのために若手有名タレントを起用して積極的なプロモーションを仕掛けたことが奏功し、前年同期比3割増となりました。サンダル部門は、6月から7月に気温が上がらなかった影響で売上不振となりました。また、低単価商品の粗利益の構造改革として取り組んでおります「高品質・低価格」の統一販促「990プロジェクト」ではカラーバリエーション豊富なショートレインブーツを6月上旬に販売を行ったところ大変好評を得ました。

また、マーケティング本部が中心となり全国販促会議を行うことにより地区営業部・全国商品部・商品開発部が同じ指針のもとPB及びNPBの商品開発と販売に取組む体制が強化されました。この結果、PB及びNPB等のシェアは前年同期と比較して4ポイント増の約36%となりました。

粗利益率は、個別の催事毎に粗利益率の管理を強化したこと及びPB・NPBのシェアの増加等により前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、前期に震災の影響で販促活動の自粛など販売費と人件費が極度に減少した反動で3月は増加しましたが、当第2四半期連結累計期間は経費コントロールに注力し、また不採算店の退店等による店舗数の減少に伴う管理費減少効果もあり経費全般としては微減となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の靴事業の営業利益は、前年同期を上回り増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の出退店は、靴チヨダ、東京靴流通センターを中心として出店11店、退店20店を実施し、当第2四半期連結会計期間末店舗数は1,130店(前年同期比25店減)となりました。

この結果、売上高は57,580百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

## 衣料品事業

当第2四半期連結累計期間における衣料品事業の売上高は、前年の震災の反動で3月の売上が大きく上回ったことにより既存店は前年同期の売上を確保することができましたが、総売上は不採算店の退店等による店舗数の減少により減収となりました。

商品面におきましては、お客様のニーズ等に応える多様な機能を付加したPB商品として「ナノプラチナデニム」「香り付Tシャツ・ジーンズ」「着心地ひんやりインナー SARARI Cool」「orgabits」等を開発、ローンチし好評を得ました。

販売施策におきましては、TVCMの実施、フリーマガジン「NANA style」の発行、モバイル会員への起動的な情報発信

など積極的かつ多面的な販売促進策を実施しました。また、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引を実施するなど、シニア層の拡大にも努めました。

粗利益率は、商品在庫の鮮度向上による建値消化率アップにより47.9%となりました。経費面では、販管費の戦略的なコントロールに注力いたしました結果、当第2四半期連結累計期間は増益となり、営業利益1,049百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の出退店は、出店9店、退店14店を実施し、当第2四半期連結会計期間末店舗数は477店(前年同期比33店減)となりました。

この結果、売上高は18,463百万円(前年同期比2.5%減)となりました。



## 会社の対処すべき課題

欧州の債務危機問題や新興国の景気後退による世界的な景気減速への懸念が消えないほか、主要な商品供給国である中国との関係悪化による調達不安も台頭しているなか、先行き不透明な経営環境が依然として続くものと見られます。

このような状況下、当社グループといたしましては主力事業である靴事業では、より一層のPB商品の拡充による粗利益率の向上をさらに確実なものにするべく、商品開発とマスメディアを用いた全国統一型のキャンペーンの拡大を行うほか、経費面におきましてもより効率化を図ってまいります。衣料品事業におきましても粗利益率の向上を図る

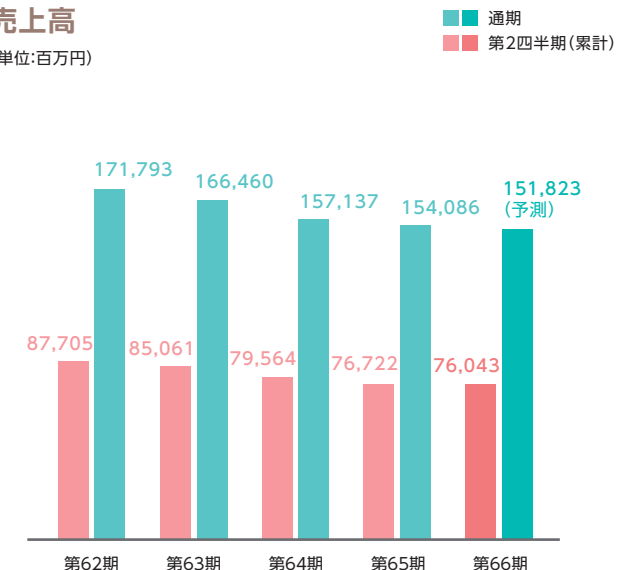
とともに経費コントロールに注力し、販売の増加が見込めるMDへの転換を図ってまいります。

どうか、今後とも株主の皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績の推移

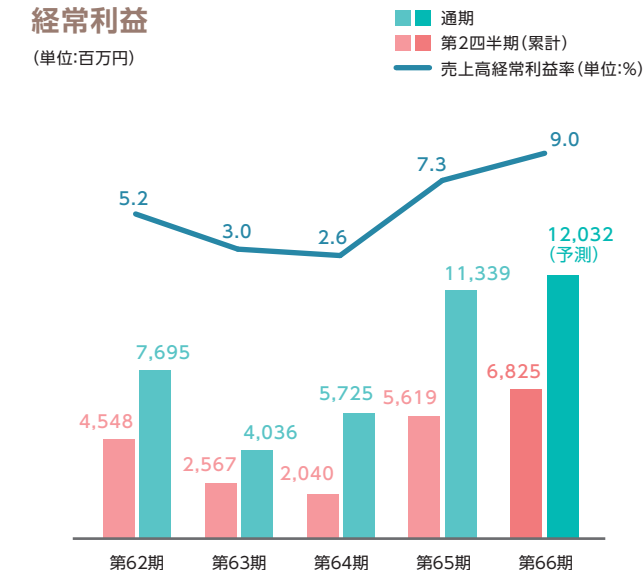
### 売上高

(単位:百万円)



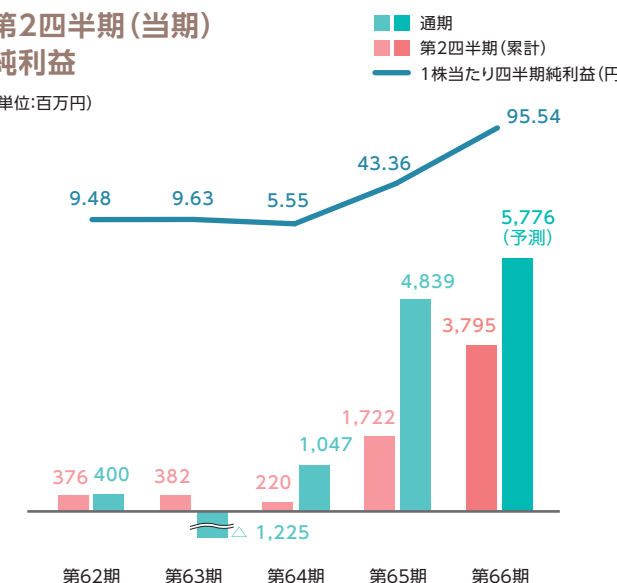
### 経常利益

(単位:百万円)



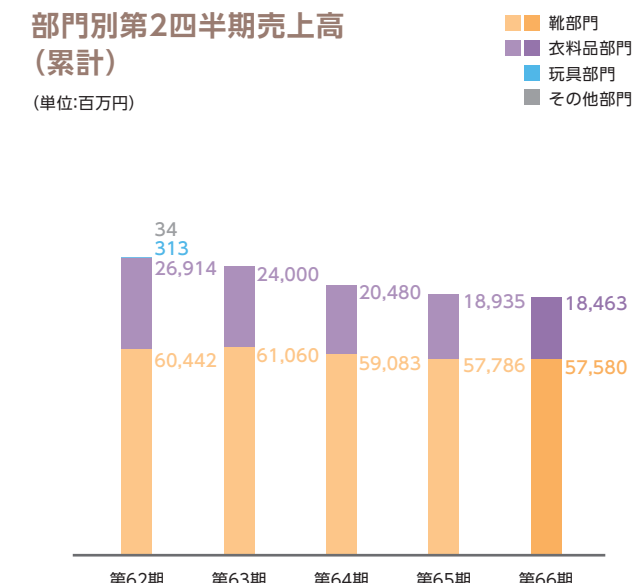
### 第2四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



### 部門別第2四半期売上高(累計)

(単位:百万円)



**第2四半期連結貸借対照表**

科 目	当第2四半期 (平成24年8月31日現在)	前 期 (平成24年2月29日現在)
(資産の部)		
流動資産	81,509	80,001
現金及び預金	50,167	47,024
受取手形及び売掛金	2,240	1,933
商品	26,625	28,235
繰延税金資産	916	1,081
その他	1,570	1,743
貸倒引当金	△ 11	△ 16
固定資産	45,879	46,755
有形固定資産	9,950	8,987
建物及び構築物	4,618	4,762
工具、器具及び備品	489	500
土地	4,352	3,242
リース資産	462	475
その他	28	6
無形固定資産	3,645	3,685
投資その他の資産	32,283	34,082
投資有価証券	8,423	9,485
敷金及び保証金	18,986	19,710
繰延税金資産	3,514	3,561
その他	1,506	1,477
貸倒引当金	△ 147	△ 153
<b>資産合計</b>	<b>127,389</b>	<b>126,756</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成24年8月31日現在)	前 期 (平成24年2月29日現在)
(負債の部)		
流動負債	37,234	39,049
支払手形及び買掛金	24,383	25,299
ファクタリング債務	2,584	3,166
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	948	1,046
リース債務	217	196
未払法人税等	2,885	2,831
未払消費税等	408	498
賞与引当金	636	611
店舗閉鎖損失引当金	116	187
リース資産減損勘定	358	477
資産除去債務	33	26
その他	3,921	3,968
固定負債	14,799	14,988
長期借入金	1,465	1,592
リース債務	350	390
繰延税金負債	40	40
退職給付引当金	8,104	7,851
役員退職慰労引当金	5	138
転貸損失引当金	528	567
長期預り保証金	830	842
長期リース資産減損勘定	426	582
資産除去債務	2,108	2,124
その他	939	857
<b>負債合計</b>	<b>52,034</b>	<b>54,037</b>
(純資産の部)		
株主資本	69,118	66,516
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	57,763	55,160
自己株式	△ 3,027	△ 3,026
その他の包括利益累計額	510	521
その他有価証券評価差額金	510	521
新株予約権	97	39
少数株主持分	5,629	5,642
<b>純資産合計</b>	<b>75,355</b>	<b>72,719</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>127,389</b>	<b>126,756</b>

**第2四半期連結損益計算書(要旨)**

科 目	当第2四半期 平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで	前第2四半期 平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで
売上高	76,043	76,722
売上原価	39,037	40,244
売上総利益	37,006	36,478
販売費及び一般管理費	30,597	31,178
営業利益	6,409	5,299
営業外収益	1,037	1,033
営業外費用	621	713
経常利益	6,825	5,619
特別利益	363	22
特別損失	159	2,339
税金等調整前四半期純利益	7,030	3,303
法人税、住民税及び事業税	2,771	2,028
法人税等調整額	195	△ 416
少数株主損益調整前四半期純利益	4,062	1,690
少数株主利益又は少数株主損失(△)	267	△ 31
<b>四半期純利益</b>	<b>3,795</b>	<b>1,722</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)**

科 目	当第2四半期 平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで	前第2四半期 平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,863	1,705
投資活動による キャッシュ・フロー	94	838
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,809	△ 2,317
現金及び現金同等物の 増減額	3,149	226
現金及び現金同等物の 期首残高	43,355	37,483
現金及び現金同等物の 四半期末残高	46,504	37,710

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



第2四半期貸借対照表

科目	当第2四半期 (平成24年8月31日現在)	前期 (平成24年2月29日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	57,945	55,133
現金及び預金	36,483	32,506
受取手形	0	0
売掛金	1,592	1,402
商品	18,210	19,468
繰延税金資産	598	617
その他	1,069	1,151
貸倒引当金	△ 8	△ 14
固定資産	38,890	39,555
有形固定資産	8,266	7,384
建物	2,013	2,094
建物附属設備	1,404	1,524
工具、器具及び備品	407	424
土地	3,775	2,666
リース資産	462	475
その他	201	199
無形固定資産	3,499	3,533
投資その他の資産	27,124	28,636
投資有価証券	9,637	10,698
敷金及び保証金	13,054	13,513
破産更生債権等	15	18
繰延税金資産	3,339	3,347
長期預金	500	500
その他	1,018	997
貸倒引当金	△ 440	△ 438
<b>資産合計</b>	<b>96,836</b>	<b>94,688</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成24年8月31日現在)	前期 (平成24年2月29日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	25,253	25,277
支払手形	9,074	9,220
買掛金	9,793	9,593
リース債務	214	193
未払法人税等	2,537	2,609
賞与引当金	511	500
店舗閉鎖損失引当金	6	37
1年内返済予定の長期借入金	200	200
リース資産減損勘定	71	103
資産除去債務	17	12
その他	2,825	2,806
固定負債	10,390	10,357
長期借入金	231	332
リース債務	348	386
退職給付引当金	6,328	6,088
転貸損失引当金	294	313
長期リース資産減損勘定	85	115
債務保証損失引当金	500	500
資産除去債務	1,431	1,436
その他	1,170	1,184
<b>負債合計</b>	<b>35,643</b>	<b>35,634</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	60,596	58,493
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
資本準備金	7,486	7,486
その他資本剰余金	2	2
利益剰余金	49,241	47,137
利益準備金	845	845
その他利益剰余金	48,395	46,291
別途積立金	42,000	40,000
繰越利益剰余金	6,395	6,291
自己株式	△ 3,027	△ 3,026
評価・換算差額等	509	521
その他有価証券評価差額金	509	521
新株予約権	87	39
<b>純資産合計</b>	<b>61,193</b>	<b>59,054</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>96,836</b>	<b>94,688</b>

第2四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで	前第2四半期 平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで
売上高	55,871	56,172
売上原価	29,220	29,989
売上総利益	26,650	26,183
販売費及び一般管理費	21,496	21,771
営業利益	5,154	4,411
営業外収益	897	867
営業外費用	438	613
経常利益	5,613	4,665
特別利益	279	24
特別損失	133	1,632
税引前四半期純利益	5,759	3,057
法人税、住民税及び事業税	2,453	1,868
法人税等調整額	10	△ 461
<b>四半期純利益</b>	<b>3,295</b>	<b>1,650</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

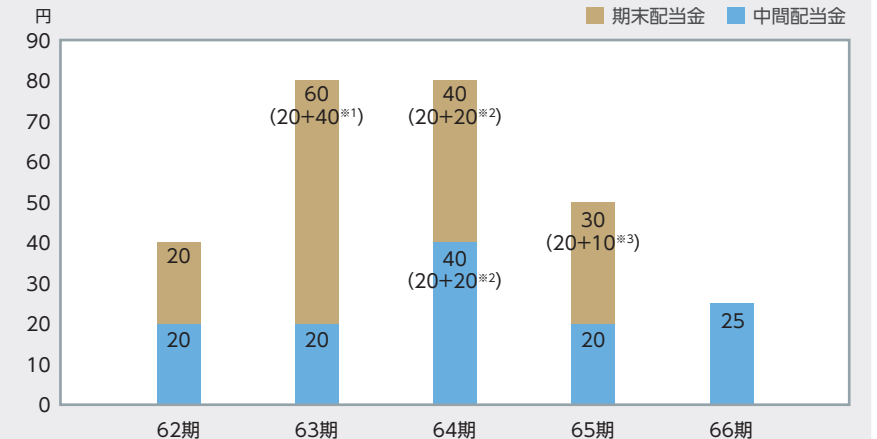
◎ 配当の状況

当期の中間配当金につきましては

1株当たり **25円**と

させていただきます。

- ※1 63期の期末配当金につきましては普通配当20円に加えまして、上場30周年記念配当の20円、特別配当の20円が加算されております。
- ※2 64期の中間及び期末配当金につきましては、普通配当20円に加えまして、特別配当20円が加算されております。
- ※3 65期の期末配当金につきましては、普通配当20円に加えまして、特別配当10円が加算されております。



## 株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
中間配当金受領株主 確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.chiyodagr.co.jp/">http://www.chiyodagr.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株

## 株主優待

毎年8月31日及び2月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様に対し、2割引株主優待券を一律5枚贈呈いたします。



### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関 となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# Chiyoda

株式会社チヨダ

〒166-8506 東京都杉並区成田東 4-39-8 芝萬ビル

TEL 03-3316-4131 FAX 03-3317-2852 URL <http://www.chiyodagr.co.jp/>

UD  
FONT

